

# ProMED-mail情報 2018年11月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し  
ます。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	マラリア コンゴ民主共和国	北キブ州では、2018年のマラリア患者数は2017年の患者数の8倍となった。そこで、45万人の住民に薬と蚊帳を配布した。エボラ患者とマラリアの患者が混じり合っているため、WHOはマラリア患者を減らすことでエボラ流行の制圧を期待している。コンゴ民主共和国のマラリア患者数は、ナイジェリアに次いで世界で2番目に多い。
27日	炭疽 ナミビア	ナミビア保健福祉省は、北西部のクネネ地域のオブウォ地区で、炭疽菌感染症の流行を報告した。10月下旬に4人の患者から皮膚の傷と腫脹がみられ、11月21日現在、52人の疑い患者が報告された。疑い患者は、死亡したヤギを処理したり、死んだヤギの肉を食べていた。流行しているオブウォ地区のほとんどの住民はヤギ農家。この地区で、8月以降、98頭の動物が原因不明で死亡していた。
27日	住血吸虫症 ミャンマー	ミャンマーの保健スポーツ省は、ラカイン州で検査された1,000人近くの住血吸虫症疑い例のうち、520人がマンソン住血吸虫IgG抗体陽性だったと報告した。
22日	腸管出血性大腸菌感染症 米国	21日、米国FDAは、10月に始まり全米11州とカナダで32人が発症した大腸菌感染症の原因として、カリフォルニア産のロメインレタスの可能性があると発表。FDAとCDCは、原因が特定されたわけではないがロメインレタスを食べないように注意喚起した。
22日	ライム病 ネパール	13日、57歳男性が突然、高熱・頭痛・倦怠感・腕の痛み・右鼠径リンパ節腫脹を発症しカトマンズの病院受診。発症2週前に右臀部をダニに咬まれ、その後、刺咬部の暗色化・出血・壊死が徐々に広がった。ライム病を疑いドキシサイクリン投与により軽快。2018年、ネパールで初めて報告された症例。
21日	マラリア ギリシャ	ギリシャ保健局は、8月以降、9例のマラリア国内感染を発表した。9例とも熱帯熱マラリアではない。2018年10月下旬までに47例報告され、うち37例は輸入例、1例は未分類。輸入例37例のうち23例はインドやアフリカからの移民、14例はアフリカからの旅行者だった。ギリシャは1974年にマラリア排除を宣言していた。
20日	アデノウイルス感染症 米国	16日、ニュージャージー州保健局は、州内の医療リハビリ施設での10月以降の流行により、子供で11人目の感染死亡者と、ほか23人の感染者を発表。感染した子供はみな免疫不全や基礎疾患があり、易感染状態だった。
19日	狂犬病 コスタリカ	14日、43歳の生物学者が感染死亡した。彼は、8月15日にCopey de Dotaの洞窟に入り、コウモリに接触し腕を咬まれたが放置。2か月後、10月11日に麻痺・嘔下障害・異常行動の症状が出現し始め、治療を決意した。10月21日にSan Joseの病院の集中治療室に入院し、心肺不全で死亡。
13日	狂犬病(輸入例) 英国	12日、英国公衆衛生局は、訪問先のモロッコでネコに咬まれた英国人男性が狂犬病に感染し死亡したと発表。別の情報では、彼は58歳男性で、モロッコの首都ラバトに滞在していた。渡航前にワクチン接種はせず、また暴露後に抗狂犬病血清を投与されず。英国では、2000年以降6人目の症例で、1例を除き海外での動物暴露による。
11日	急性弛緩性脊髄炎 日本	国立感染症研究所によると、5月以降86例の急性弛緩性麻痺の報告があり、うち10月以降28例発症し、過去数年間で急速に報告数が増加している。発熱を伴う風邪に似た症状で発症し、四肢に症状が現れる。原因の一つはエンテロウイルスD68によるウイルス感染症である。
10日	アフリカ豚コレラ(輸入食品) 日本	9日、農水省は、感染力の強いアフリカ豚コレラウイルスが10月14日に上海から羽田空港に到着した旅行者の荷物の豚肉詰めの食品から検出されたと発表した。中国では8月に同ウイルスによる病気の発生が報告されているが、日本での報告例はない。
9日	狂犬病 米国	今月上旬、ユタ州の住民が狂犬病に感染し死亡。ユタ州では1944年以来初めての死亡例。州保健局は死亡者の詳細情報は公表していないが、感染原因はコウモリの暴露と推測している。
3日	ラッサ熱 ナイジェリア	国内で10月22日～28日に9例の確定例と1例の疑い例、および2例の死亡が報告された。10月1日～28日に22の州より2,834例の疑い例あり、うち548例が検査陽性、17例が可能性あり、2,264例は検査陰性だった。2018年は確定患者のうち141例死亡、感染可能性例では17例死亡した。確定症例における死亡率は25.7%である。
1日	コレラ イエメン	イエメン公衆衛生人口省は、10月1日～7日に13,403人の疑い例と26人の関連死亡例を報告した。昨年2017年4月27日より2018年10月7日までの疑い例の累計は1,236,028人、関連死亡者数は2,556人。WHOはサーベイランスの強化、疾病管理、衛生状態の改善を通じ、引き続き支援している。